

# 議会だより

令和6年度12月会議

12月会議提出議案 …………… 2～3

一般質問

「7人の議員が町政への質問」… 5～11

議会topics …………… 12～15

議会だよりギャラリー…………… 16

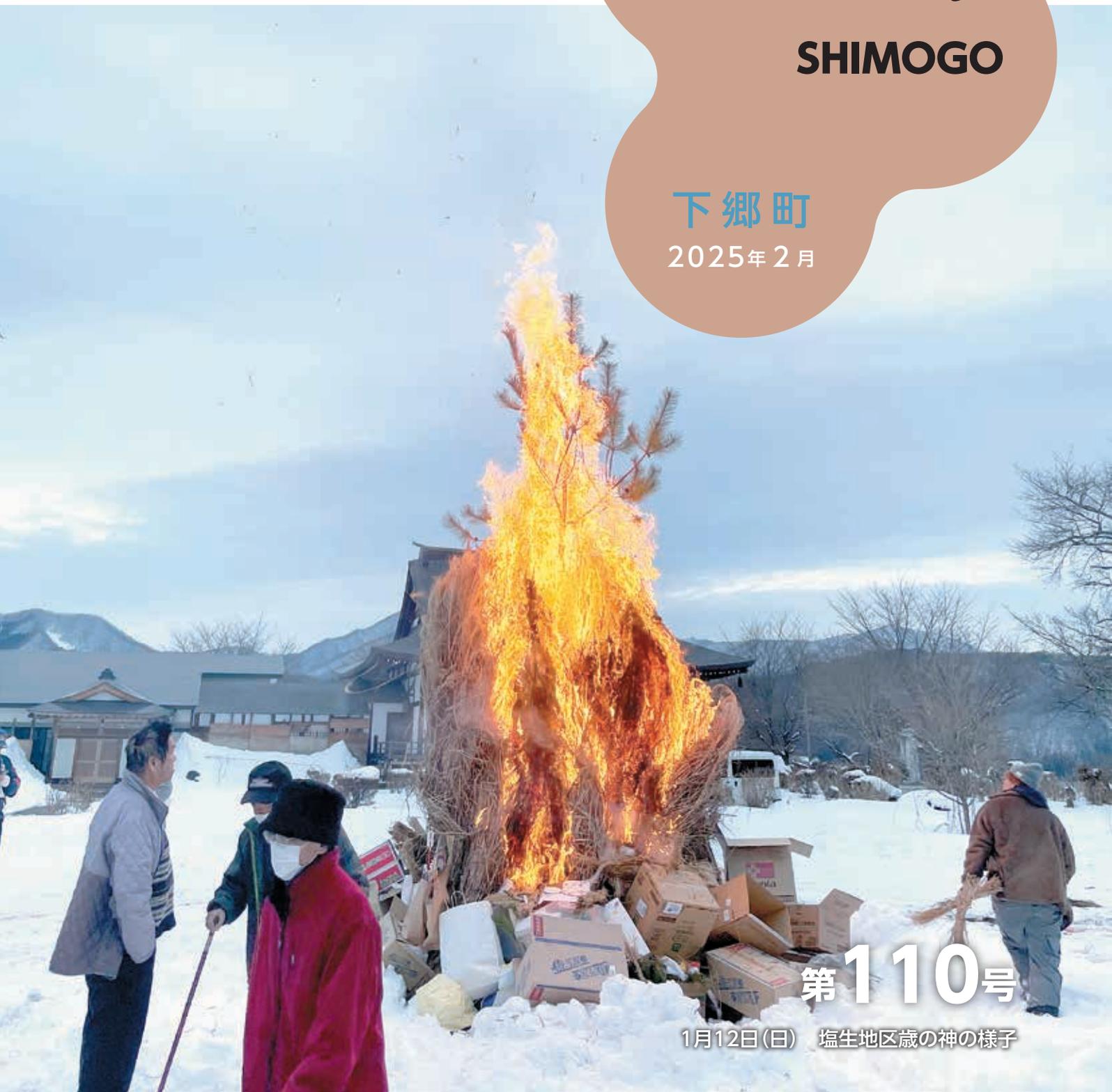
# 下郷

SHIMOGO

下郷町

2025年2月

目次



第110号

1月12日(日) 塩生地区歳の神の様子

# 12月会議提出議案



12月会議は9日から12日までの4日間の会期で開かれ、全て可決されました。

## 条例改正

- 下郷町公園条例の一部を改正する条例の設定
- 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の設定について
- 議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の設定
- 町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の設定



「下郷町公園条例の一部改正」（令和7年4月1日より改正）町長の許可を得ること①物品の販売、募金その他これに類するもの②業として写真又は映画を撮影③興行を行うこと。④競技会、展示会、集会その他これに類するもの⑤花火、キャンプファイヤーその他火気を使用することが追加され、使用料も変更になった。



「議会議員定数条例の一部を改正する条例」については、次の一般選挙から適用となります。人口減少や高齢化が加速しており、町議会を取り巻く状況も変化している。現状では、町議会議員の定数削減が急務であると考え定数削減とした。



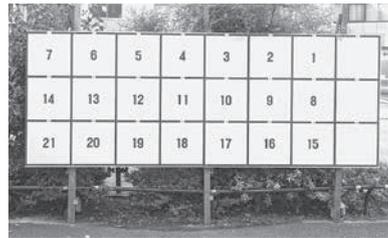
# 令和6年度下郷町一般会計補正予算を審議

## 歳入歳出それぞれ1178万9000円の追加

### 選挙費用

**Q** 衆議院議員総選挙費、需用費の内訳について詳しく説明してください。

**A** 掲示板の経費が約200万円、一般消耗品が50万円、円の予定となっており。



### 防災無線落雷被害

**Q** 防災無線の落雷被害の詳細な状況を教えてください。

**A** 中山中継局敷地内のアンテナ、無線設備、非常用発電設備に損傷があり、合計12ヶ所の損傷が確認され

た。修繕費用は合計577万5000円となっている。



### 農業

**Q** 農業委員会のタブレット端末の導入台数とメリットは。

**A** 13台の導入を予定しており、農地法に基づく現地調査や農地台帳の管理、各種事業との連携において必要不可欠なツールとなる。



### 除雪機購入

**Q** 除雪機が性能検査に不備があつて、除雪機メーカー側の不備なので、違約金は発生するか？

**A** 現在、業者と詳細について協議している

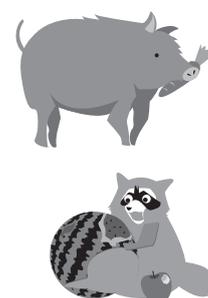


### 鳥獣被害対策

**Q** 鳥獣害対策だが現在の捕獲数は。

**A** ニホンジカが175頭、イノシシが37頭

と、ニホンザルが28頭ツキノワグマ28頭、合計で268頭。



### 遊具新設工事

**Q** 養鱒公園の遊具は町内に工場を置く会社ではなかったが入札には入っていたのか

**A** 土木業の許可を持っていない事業者だったために入っていない





## 一般質問

12月会議では、7人の議員が11件の一般質問を行い、活発な議論を展開しました。5ページより、質問した順に代表する質問の質疑応答を要約してお知らせします。

### 大竹 浩治

●町政施行70周年を迎えるにあたり式典等の行事について

P 5

### 渡部 哲

●ナラ枯れ対策について

P 6

### 湯田 純朗

●会津縦貫南道路の完成が湯野上温泉に与える  
●小学校の統合問題について

P 7

### 星 和志

●湯野上地区解体現場2630万円の補償費をかけ何を計画か

P 8

### 山名田 久美子

●障がい者虐待への対応について  
●町内児童・生徒の学力について

P 9

### 星 邦一

●ネギの特産化と肥料高騰への支援について  
●水稻維持に向けた集団化について

P10

### 猪股 謙喜

●野菜の貯蔵と販売に雪室の利用を図ってはどうか  
●新年度予算案について

P11



“一般質問”は、議員が町の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等を聞き、町長などに所信や疑問をただすことで、報告や説明を求めることです。



スマートフォンで右のQRコードを読み込むと今までの会議録を読む事ができます





大竹 浩治 議員

kouji otake

## 質問 町政施行70周年を迎えるにあたり 式典等の行事について

### 答弁 町政発展のさらなる 飛躍の年とするため検討している

写真は60周年記念事業のもの



#### 問

下郷町は昭和の大合併により昭和30年四月一日に榑原町、旭田村、江川村の一町二村が合併・誕生し令和七年には70周年を迎えることとなります。

戦後の復興にあたり先人達は農林業の振興のもと、本町発展の原動力となり今日に至りました。この間、高度成長期を迎え国策事業の大川ダム、電源開発による大内ダムの完成等により本町は活性化されてきました。近年は甲子トンネルの開通や高規格道路「会津循環南道路」四工区の整備着工とその姿は日に日に形になってきており、本町も大きく変革を迎えようとしています。一方、合併時の人口は約1万5千人、現在は5千人を割る状況となってきました。

このような中、先人・先輩達が作りあげた経緯と今後の

町政発展の思いを新たにすためにも、町政施行70周年記念行事を実施する意義があると考えます。

町長の考えをお伺いします。

#### 答

昭和30年4月1日、榑原町・旭田村・江川村が明るい活力のある町を目指し誕生した「下郷町」は、令和7年度、町政施行70周年の節目の年を迎える。

町では、過去の各周年の節目の年には、記念式典を実施してきた経緯がある。

町政施行70周年を迎える令和7年度は、町政発展のさらなる飛躍の年とするため、本町において過去に実施した「周年行事」の内容や、また他市町村の例も参考にしながら検討している。その実施にあたっては、議員の皆様方にもご協力をいただきながら進めてまいりたいと考えている。

写真は60周年記念事業のもの





渡部 哲 議員  
tetsu watanabe

**問**

最近、ある林業関係の仕事に携わっている人から指摘されるのですが、コナラやミズナラなどの木が多数枯れているとのこと、ここ2〜3年のうちに木が倒れたり、枝が落ちたりするなど、道路に木が倒れて車に被害を加えたり、電話線や送電線などに大木が倒れて大きな被害をもたらすかもしれません。

それと同時に、人命に関わるような事故が起こった場合も考えられます。

今年の春に神奈川県のあるキャンプ場で、倒木の為に死亡事故が発生して大きな問題となりました。

本町では広域消防署下郷出張所の対岸側などは、特に甚だしい状態で危険です。

いずれ何年か後には木が倒れ落下し、走っている電車に被害を及ぼすかもしれません。

原因がカシノナガキクイムシ（カシナガ）が、木を蝕んでいるとのことですが、できれば町当局には、至急に調査してもらい、薬剤注入や伐倒などの作業で解決を図ってもらいたいと思います。が、町長の考えをお聞かせ願えたいと思います。



**答**

本町においてもカシナガによるナラ枯れの被害が拡大している。

町では平成29年度以降、状況に応じた対策を講じ被害防止に努めている。しかしながら、全国的に被害拡大の一途を辿っており、倒木等により主要道路や鉄道沿線など、様々な箇所での被害が想定されるため、危険木等の管理に努めていく考えである。

広域消防署下郷出張所裏側の区域についても、本年度に入り被害状況が著しく、庁舎からも確認できたことから、8月には南会津農林事務所と町内外の被害状況や今までの事業状況等についての協議も行っている。

カシナガ被害については町単独での対策が非常に困難であるため、引き続き関係機関と連携し、被害減少に向けた取り組みを検討し、会津総合

開発協議会南会津地方部会を通じ、広域的な対応の必要性を県へ継続要望している。

森林所有者の関心の低下による管理不足も懸念されており、町としては、国森林環境譲与税や県森林環境税等を活用し、これまでの人工林を中心とした森林整備だけではなく、広葉樹を中心とした森林整備事業についても、地元森林組合等と幅広く検討を行い、下郷が誇る豊かな景観形成に努めていきたい。

**質問** ナラ枯れ対策について

**答弁** 被害減少に努めたい



湯田 純朗 議員  
sumio yuda

## 質問 会津縦貫南道路の完成が 湯野上温泉に与える影響は

### 答弁 湯野上地域の整備は、 観光・交流の拠点として重要

**問** 本町の観光地である大内宿塔のへつり等への観光客が昨年に比べかなり増しているが、本町の湯野上温泉は、県外の観光客にあまり認知されていないように思えてなりません。そこでお尋ねします。

①湯野上地域整備計画が大々的に行われる予定であったがこの計画は取りやめになったのか。それとも今後実施されるのか。  
②会津縦貫南道路が開通した場合、どのような影響があるとお考えか。  
③この計画作成にあたり、熊本県黒川温泉を視察され、湯野上温泉をどのようにしたいと考えたのか。  
④宮城大学の森山昌志クルーに51,355,120円（国県等補助金38,586,280円一般財源2,768,840円）がいつ支払われたのか。

**答** 湯野上温泉地域整備基本計画については、湯野上地域の生活環境の向上と、温泉地としての地域経済活性化を図ることを目的に、

平成28年度に策定をしている。この計画は、観光・交流の拠点として重要なものであると考えており、今後将来を見据えた地域のあり方、町の財政状況等を勘案し、事業実施に向けて検討を重ねていく。

会津縦貫南道路が開通した際の影響については、利便性の向上や移動時間の短縮によって、町が通過点になるのではないかという懸念もあるが、既存の観光地の磨き上げや、新たな観光資源の開発整備に取り組み、交流人口や関係人口の増加にとり組んでいく。また、黒川温泉視察については、地元の方々の努力により全国有数の温泉地となった事例を視察したものである。湯野上温泉は、大内宿と塔のへつりの中間点にあたり、観光・交流の拠点として重要であると考えており、今後様々な視点から、事業実施に向け検討を重ねていく。

に湯野上地域整備基本構想策定業務として5,778,000円平成27年度に7,560,000円、合計13,338,000円である。

創生先行型交付金及び加速化交付金12,560,000円一般財源が778,000円

### 質問 小学校の統合問題について

#### 答弁 具体的方向性を示す

**問** この問題には、約9年前より取り上げてきた。当時の町長の答弁は、地域のコミュニティと少数での教育が大事であると、私の記憶にあるが、今もその考えに変わりはないのか。

今年の総務文教常任委員会の視察研修が、青森県の南部町三戸町において、小学校の統廃合について研修してきたが、今後の進め方というかプロセスをお聞かせ下さい。

**答** 町と学校教育に携わる方々、さらには地域の方々と未来を担う子供たちのためによりよい方向性を見定めていくことが大切なことであると考えている。今後、少

0円、ほぼ地方創生付金を活用し、事業を実施したところである。なお、この計画は、壮大な計画であるため、事業の実施には時間を要しているが着実に一歩一歩進めてまいりたいと考えている。

人数の学級や複式学級が進むと推測されるが、地域のコミュニティの重要性、地域の未来、教育環境のあり方について皆さんの意見を伺ながら検討していく。1月7日に第1回教育懇会を開催し、各小中学校長より意見を頂いたかには小中学校を合わせた統廃合も視野に入れた検討も必要であるという意見もあるので具体的な方向性を定めていく。

**問** お金や時間をかけない方法はないのか。例えば、旭田小と栖原小を先に統合するとか。

**答** 早く進めて頂きたい。学校の適正配置も含めて検討していく。

**質問** 湯野上地区解体現場2630万円の  
補償費をかけ何を計画か



星 和志 議員  
kazushi hoshi

**答弁** 町道の拡幅事業を計画



**問** 湯野上解体現場の計画内容はどのようなものか？

**答** 江川郵便局南側に位置する町道の拡幅事業で、現在の幅員1・7mから車道幅員5m、歩道部2・5mに拡幅し、安全性と利便性の向上を図る計画です。

**問** 道路が地域発展に最も重要であり、令和元年12月の定例会で協議され、地区からの要望に基づいている。拡幅する道路の先にある横に走る道路は狭いが、それでは意味がないのではないか？

**答** 国道との接続部分で隅切りを行い、見通しを確保する計画があり、専門家の判断に基づいて進める。

**問** 土管理者との協議は進んでいるのか？

**答** 建設課長 詳細な内容の検討については今後協議を進める予定であると説明しました。

**問** 解体している土地は、町民が購入のため資金調達の準備まで整えたところを、地区内の有力者の方に使わせるから手を引けと言われて断念した経緯があります。この経緯を考えると、当初から空き家と土地の買収ありきでの道路事業と思われるが、町の見解は？

**答** そのとき、湯野上地域で決議文を出したということ、湯野上地区の総意であったそれに基づいて私は全員協議会に出した全員協議会にかけてご理解いただいたということ、私には解釈している。部分的にはなく広く使ってほしいとの要望があった。



山名田 久美子 議員  
kumiko yamanada

## 質問 障がい者虐待への対応について

### 答弁 県と協議の上意見は申し上げる

#### 問

今年8月社会福祉法人南陽会が運営する作業所において、障がい者である利用者に虐待を行なっているとの騒ぎになった。事件発生から4ヶ月が経過してもいまだ家族、保護者への説明が行われていない。町に直接相談があったと聞くと、この事件に関する経過と、町の対応について伺う。

#### 答

今年10月下旬、町健康福祉課に直接相談があった。その内容として「怖い従業員がいる」「施設に行きたくない」と利用者の声が多数出ているとのことだった。同様に南会津保健福祉事務所にも情報が寄せられていたことから、県と連携して対応することとした。

・11月1日  
施設の代表者から聞き取調査  
・11月19日  
南会津町役場健康福祉課に説明

・12月5・6日

施設の利用者を対象に面談を実施

詳しい内容は調査中なので差し控える。

#### 問

南陽会の理事は「この件は解決している」と聞いた」ということは、「虐待はなかった」「誤解だった」ということなのか。この時点で利用者からの聞き取りは実施されていない。職員に対して聞き取りは実施されていないのか伺う。

#### 答

虐待と思われる事案が発生したのが8月中と思われ、相談が10月下旬、2ヶ月以上経過したことから、施設の代表者からの聞き取りにより、緊急性は低いと判断した。

#### 問

障がい者虐待防止法の中に、虐待（疑いを含む）を発見した人は通報の義務がある。

・通報や届出をした人は不利益を受けないよう法律上保護される。

利用者が信頼し手紙を託した職員が、理由もなく降格させられたと聞いた。

早急に事実説明をし、関係者の処分と今後の再発防止策を立てるため、南陽会理事会あかまつ荘保護者会が立ち上がった。障がい者のみならず、高齢者、児童、女性などあらゆる

## 質問 町内児童・生徒の学力について

### 答弁 読解力を高め学力向上を目指す

全国学力テストにおける町内の学校の成績はどうか？

#### 答

小学校は国語で全国平均を1・3ポイント上回り、算数は0・3ポイント下回った。中学校は全国・県平均を下回る結果となった。

人に対しての虐待、そして職員に対するパワハラは絶対に許されるものではない。

作業所は町内にあることから産業厚生常任委員会として、今後も対応して行くことを考えている。とにかく、利用者とそれを支えている職員を守る事が一番大事なことと考える。

#### 答

町としても県との協議の上、いろいろな意見は申し上げていく。

#### 問

複式学級は学力に影響があるか？

#### 答

校長先生方の意見では、複式学級が学力に大きく影響することはないとの報告がある。支援員のサポート体制も整えている。



星 邦一 議員  
kuniichi hoshi

**質問** ネギの特産化と肥料高騰への支援について

**答弁** 国や県の情報把握しながら対応していく



**問**

6月議会の一般質問を行ったネギの特産化と肥料高騰支援についてその後の進捗状況と、次年度予算化の考えはあるのか伺う。

**答**

ネギの特産化については、農政連絡会議を開催し、品種の実証や新規就農者への生産振興、農業政策についての情報交換等を行い、特産作物として支援事業は継続するとともに、今年度中に策定する地域計画の策定によりネギの振興が見込まれれば高収益化計画の作成も盛り込んでいく予定である。

**問**

肥料高騰対策については、町でも当初予算での対策は考えていないが、国や県の情報把握しながら対応していく考えである。

**問**

町長の答弁では生産者が増えればといった積極性が感じられない。高収益化計画の作成を進めていることだが、計画を策定する前にまずは農家にやる気、元気を出させることが最優先ではないか。町長が先頭に立ってネギを作るぞ。と言えれば相当数の農家がやる気を出し、それが農業発展につながるのではないか。

作る人がいるから補助金を出すのではなく、補助金を出すから作れというようであると、高齢化した農家の方々は生き残れないところまで来ているが、そういった意気込みがあるのか伺う。

**答**

私の方針は色々な産業の人たちから相談を受けながらやっていくこと、それと同時に私が先頭になってやっていくと考えている。生産者を増やして予算までを

**質問**

水稻維持に向けた集団化について

**答弁**

要望があれば支援し

水稻維持につなげていく。

**問**

町の主産業である水稻農家を維持していくためには、町主導で集団化が可能な地区を組織化、法人化していくなどの支援が必要と考えるが町長の考えを伺う。

**答**

農家の方が共同で行う組織化は重要であり、農業再生協議会において相談対応や法人登記費用の助成などを行っている。

組織化については、地域から要望があれば支援し水稻維持につなげていく。

**問**

要望があったらという姿勢でなく積極的に前に出て農家を元気づける役割を担っていただきたい。農業と観光のまちとして町長の思いは農家に届いていないため、農業に対する思いを聞かせていただきたい。

**答**

担当課における熱意が、それが少なかったと反省する。今後は農家に出向き、声を聞きながら当初予算編成や人事配置を行い農業振興に当たっていく。



猪股 謙喜 議員

kenki inomata

## 質問 野菜の貯蔵と販売に雪室の利用を図ってはどうか

### 答弁 利点は多いが要望が無い

**問**

雪中野菜は、雪中で糖度が高まり認知と人気が高まっています。しかし、降雪量に左右されやすく、雪が深ければ雪掘りや搬出に苦勞する事があります。そこで、雪室利用で保存性を高め出荷までの労力の軽減を図れるのではないのでしょうか。

さらに暖冬対策と収穫後から降雪の間、電気による空調可能な雪室を併設することにより、暖冬にも対応できます。そこで、雪室を試験的に導入することを考えてはどうでしょうか

**答**

雪室については、野菜の高付加価値化や出荷時期の分散、など利点も多くあります。しかし、降雪量に大きく左右されることや、施設の建設費用、雪や野菜の運搬費用。また、空調可能な雪室併設となれば、その分の電気料などのランニングコストも通常の貯蔵庫とは異なる負担が予想される。さらには、

農家からの相談や要望も無いことから、その導入に関しては検討は行なっていない状況である。



**質問**

### 新年度予算案について

**答弁**

### 健全財政堅持につとめる

**問**

新年度予算案に対し、以下の件につきまして町長のお考えをお尋ねします。

- 人口減少に対する施策。特に移住促進と住居の供給。
- 子育て支援。個別支援と制度の見直し・拡充。
- 教育環境整備。通学支援と放課後の過ごし方。

○高齢者の一人暮らしに対する見守り体制と支援拡充。  
財源が限られている中で他市町村との差別化を図る時代です。下郷町に安心して住みたい、子育てをしたい。その様なまちづくりが求められています。

**答**

これまで国県主導によるものをはじめ下郷町総合計画等に基づき各分野において展開してきた。新年度予算は現在作業中であるが、固定資産税の減少が続いているなどから健全財政の堅持に

つとめる。国県の動向に注視し下郷町総合計画の実現を目指していきたい。

人口減少・子育て支援・教育環境整備・高齢者の一し支援についても、住んでよかった・ずっと住みたい・住んでみたい、と思えるような町づくりを進めるために、引き続き取り組むべき課題と認識しており、予算編成の基本的な考えに基づき対応していく。



### 小学校統廃合の先進地視察

### 青森県南部町

南部町、名川町、福地村の3町村が合併し「南部町」が誕生した。青森県の南東に位置し、人口16,000人、世帯数約7,400世帯で、県下第2位の人口を有する。合併当時2,000人の児童がいたが、現在は900人と半減した。現在、給食費、医療費、修学旅行費の無償化を実施している。令和5年度に小学校8校を3校に統合した。統廃合にあたっては、校舎を新たに新築したのではなく、元々の校舎を使用している。統廃合については、中学校以下の子供を持つ家庭へ小学校統廃合のアンケートを取った結果、統廃合したほうがよい答えた方は全体の63.6%で、望ましくないが36.4%という結果であった。その結果を受けて、住民説明会4か所で開催。その後学校統合検討会を設立し、統合に関する総合的な方策を諮問し議論をする。



### 検討委員会での議論の項目

①小学校の統廃合について、②学級編成について、③通学について、④教育環境について、⑤スポーツ少年団やPTA活動について等、その結果一年後に統合すべきと答申をいただく。その後、苦慮した点は、学校は地域の皆さんと保護者にとってはコミュニティの中心でそれが失われたこと。統合するとバス等の交通手段が変わることについては、時間の問題等で苦慮された。

#### ○学校でのDX活用

令和5年度から全ての小中学校で総合型校務支援システム「スズキ校務」を導入し名簿情報管理、出欠情報管理、通知表作成、指導要領作成など総合管理を行っている。メリットは成績処理の正確性や信頼性の向上、教員の負担感、多忙感の軽減、連絡事項、学校行事また、必要な票帳管理も備えており教員の負担軽減につながった。

### 義務教育をどうするかが統合の始まり

### 青森県三戸町

青森県の南部に位置し、南は岩手県、西は秋田県との県境に位置する。戦国時代に三戸南部氏の居城「三戸城」築かれ、城下町として古い歴史を有する町である。平成10年度は、小学児童数590名、令和6年度は291名となり65%の減となり、中学生徒数は平成10年度456名が同じく193名で57%の減となり、16年で児童生徒が半減した。小学校が12校、中学校5校であったが現在は小学校2校、中学校1校になっている。令和2年2月27日杉沢小中学校の統合の第1回目の懇談会開催、そして令和4年4月から統合になった。統合にかかった予算は、閉校式開催事業に40万円、学校維持経費は令和元年の実績で、杉沢小中で1,800万円の交付税参入で1,000万円。斗川小学校では1,200の交付税参入で学校維持経費1,100円で済んだ。

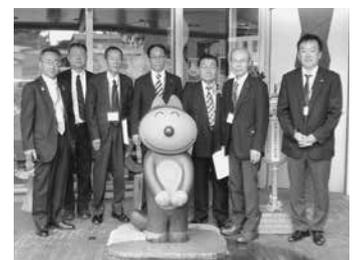
小中学校の一貫教育の成果と課題としては、不登校数の減少、中学入学時の不安の緩和、児童生徒の変容（中学生の小学生の手本となる意識）確かな学力の定着、教員の意識改革が見られた。

下郷町でも、小中学校の統廃合を考えるならば、順序を踏まえ懇談会や検討会において十分議論し、進めることが重要であると認識を持った。

#### ○道の駅奥入瀬ろまんパーク

道の駅自体は、赤字経営であるが、スキー場の経営を含めると黒字経営。隣にあったビール館は民間に売却した。

市町村合併で公社の運営となり、正社員が30名程いるが、経営が厳しいので合理化が求められていることは必須、今後どのような経営をするか早急に協議が必要であるということであった。



## 特産品の取り組みや農業振興策、農事組合法人における運営状況や農業法人の在り方について視察

### 秋田県能代市における白神ねぎの取り組み

秋田県能代市における特産品の「白神ねぎ」は機械化の一貫体系により年間5万トン、約17億2千万円を出荷し、市町村別で全国9位。生産拡大を図るため種苗会社など関係機関と連携し栽培指導體制の強化、技術指導に組み込み新規就農者への講習会開催や、土壌診断による施肥指導など生産者のスキルアップのため営農指導を徹底し品質向上、支援体制を進めブランド力を高めて生産出荷額を増大してきた。園芸メガ団地では作業所は機械が整備され工場化され、労働力の軽減と作業効率化が図られている。



### 岩手県盛岡市「農事組合となん」の取り組み

平成19年「都南営農組合」を立ち上げ平成25年に農事組合として法人化。設立から運営に携わってきた組合長はJA職員定年退職後、リーダーシップをとり農業を守り、次世代に繋ぐという強い意志を持って後継者不足、担い手の高齢化、農業の取り巻く課題を解決するため農地の管理、利用集積、就農支援などにも取り組んでいる。農地中間管理機構（農地バンク）を通じ農地を農事組合法人に貸し付け、農業者及び農地所有者は農地の出し手になり、自作希望者と農事組合は「特定農作業委託契約」を結ぶ。農事組合は農地の利用調整と直接農業経営を行う仕組みを取り、農地利用調整を農事組合が行うことで、担い手の負担軽減、中山間直接支払い制度や多面的機能支払制度についても一体的な運営が可能などのメリットがあることであった。



他、視察先：岩手県雫石町・社会福祉協議会 学童保育事業の運営状況・課題について

### 江川小学校訪問

学校経営・運営ビジョンに基づいた説明を受け児童減少による複式学級化、通級指導及びデジタル教育等について意見交換を行う。

**Q** 単式と複式でどちら良いのか。

**A** 単式の場合、学年毎の指導となり、教員が常に児童と向き合える。複式の場合は授業時間内に直接担任の指導を受けない時間が発生するので単式が理想である。

**Q** デジタル教育のメリット・デメリットは。

**A** 児童はタブレットを使用し自分の考えをまとめ他の児童と意見交換や、自宅に持ち帰り学習ができる。また、児童の発言が減ってしまうことが懸念されるので必ず一回以上は発言する場を設けている。



### 企業支援事業

### 暁精機株式会社

町内企業振興と安定した就労を支援するため、予算の範囲内で従業員のトイレ改修工事に限度額50万を助成した。

**Q** 補助限度額が低額すぎるのでは。

**A** 今回は、トイレの水回りの修繕だったが、補助金が増額されればさらに職場環境を改善が図れる。

**Q** 今後、地元からの更なる従業員雇用を考えているのか。

**A** 地域貢献の意味から地元の若者の雇用を考えている。

**Q** 工場を増やす計画はあるのか。

**A** 以前は工場移転や増設の計画を検討したが、現在は考えていない。



### その他の調査箇所

◇下郷町野外活動施設遊具新設工事

◇会津縦貫南道路湯野上バイパス4号橋工事

◇旭田小学校給水管布設替工事

◇コミュニティセンター太陽光設備データ収集システム改修

【質疑・提言等】

**Q** 野外活動施設に、2基の遊具が設されたが、もっと目玉となる遊具の設置をお願いしたい。

**A** 今後、財政状況に応じて遊具の充実を図る。

**Q** 養鱒公園を含めた観光PRを国道289号路線に看板等を設置してはどうか。

**A** 今後、多くの誘客が図れるよう検討する。

**Q** 休息所等の環境整備も必要ではないか。

**A** 以前は工場移転や増設の計画を検討したが、現在は考えていない。

### ニホンジカGPS行動追跡調査業務委託

ニホンジカ増加による森林被害の顕著化、下草が無くなり、落葉や根まで食べて、土壌流出などの深刻な被害が懸念されるため

○調査地点 南倉沢旧国道289号線入口

○シカ2頭にGPSを付けて追跡

○結果

1グループが4～5頭、推測で何十頭かが、いくつかの林道沿いに生息している模様。一夫多妻制であり人間の手を加えないと頭数の減少は困難である。

### 合川橋橋梁補修工事

長寿命化修繕策定計画による延命化指置

○二級町道張平沢入線合川橋

●工期 令和6年9月～  
令和7年3月

●金額 23,859千円  
●財源 国費：14,172千円  
基金：9,600千円  
一般：87千円

ひび割れ、断面復工  
昭和33年竣工（66年経過）



内容によっては通行止めもある。小松川から大松川へ抜ける町道小松川寺山線を迂回路として工事を進めていく。

親柱の補修も検討したが交付金対象外のため、含まなかった。

### その他の調査箇所

- ◇小坂橋橋梁補修工事 クラインガルテン移動式囲い罫整備事業  
会津縦貫南道路湯野上バイパス(仮) 4号橋現地視察
- ◇デイサービスセンター機能訓練室空調機修繕及び通所介護事業  
町営下中平団地改修工事
- ◇大川ふるさと公園給水管更新工事

# 議会だより ギャラリー

議会とまちのうごきを  
写真でレポート

## 『成岡の大根かじり祭り』 9月19日



この祭りは、約300年前から続くもので、頭屋の家に成岡地区の人々が集まり、1本の大根を次々にかじるので、「大根かじり祭り」と呼ばれています。

成岡地区の北野神社で催され、旧暦の9月19日に収穫を感謝する祭りで、大根をかじると病気をせずに健康に暮らせるという言い伝えがあるのだそうです。



歳の神の日に塩生雪上運動会が行われ小さい子から高齢の方まで参加され楽しみました。



町健康福祉課では1人暮らしの高齢者宅の除雪を実施しており玄関・自宅周りの除雪を事前の申し込み者から要請があれば、除雪を実施しております。

次回3月会議は3月第1週目の予定です。※日程が変更になる場合がありますので議会事務局へお問い合わせ下さい。

### 議会広報常任委員会

委員長	星	和	志
副委員長	大	竹	治
委員	猪	股	喜
委員	湯	田	朗
委員	星	純	彦
委員	渡	昌	哲

はや議員になって1年近くが経ちます。今まで町に対して強い要望で一杯だったが、町が置かれる立場を鑑みると少子高齢化や人口減少、財政の脆弱さが目立ち、思うような行政サービスができないことをもどかしく感じられます。

もっと財政基盤の強い自治体を目指して、隅々まで行き渡るような住民サービスを充実させたいと思、昔のように1万人の盆踊りができるような活気のある町を取り戻したいです。

(渡部 哲)

## 編集後記